

平成18年度(第10回)

学生生活実態調査報告書

香 川 大 学

ま え が き

平成 18 年度（第 10 回）学生生活実態調査報告書をお届けします。本報告書は、香大生の大学生活全般についてのアンケート調査を纏めたものです。アンケートは、学生生活の実態と大学へのニーズを把握し、教育改革のための基礎資料として活用することを目的としています。学業、課外活動、就職意識、学生支援体制等のキャンパスライフ、および住居、健康、アルバイト、ボランティア活動といった個人生活まで広範囲にわたっています。

さて、旧香川大学と旧香川医科大学が統合して 3 年半、6 学部・8 研究科体制として法人化して 3 年が経ちました。本報告書も、前回の第 9 回学生生活実態調査から、医学部生を含む 6 学部の学生の声や意見が反映されるようになりました。アンケート結果を見ると、興味深い結果も見られます。統合により、香大生は予想通り多様化しているように思われます。例えば、医学科では、授業以外に毎日 5 時間以上勉強する学生が約 2 割弱、そして約 6 割の学生が、主なストレスの原因を学業と回答しています。米国並みの学生生活を連想します。

また、アンケートでは、学生の非喫煙率 87.5 % という数字が出ています。平成元年の第 2 回調査では 67.7 % であり、喫煙率は傾向的に低下しているようですが、学部間でかなりバラツキがあるようです。本年 4 月から、建物内禁煙が実施されましたが、これを機に全学的に非喫煙率を高める機運が欲しいものです。

本学は、「地域に根ざした学生中心の大学」を目指すことを教育目標として掲げています。今後とも、この学生中心の大学という目標をより具体化するために、何が学生のためなのかを考えて学生生活支援を進めていく必要があると思います。なお、今回実施したアンケートの結果や学生的心声を今後の大学施策に反映させるための検討を組織的に行うことにしておりますので、多くの皆様のご意見をお寄せ頂けますようお願い申し上げます。

最後に、本報告書の作成にご尽力いただいた学生生活実態調査部会の関係委員及び関係職員には、心からお礼を申し上げます。

平成 19 年 4 月

教育担当理事（副学長）

阿 部 文 雄

平成 18 年度学生生活実態調査部会構成員

理事(教育担当)	阿部文雄
教育学部	柳澤良明
法学部	飯島暢
経済学部	小宮一高
医学部	名越民江
工学部	品川一成
農学部	秋光和也
保健管理センター	溝口剛
大学教育開発センター	葛城浩一
大学教育開発センター	松根伸治

目 次

第1章 香川大学学生生活実態調査について

(1) 調査の目的	1
(2) 調査実施期間	1
(3) 調査の対象と方法	1
(4) 調査の内容及び項目	2
(5) 集計と報告書の作成	3

第2章 調査結果の概要について

I. 基本的事項について	5
1. あなたの属性について	5
2. あなたの通学方法について	9
3. 経済状況について	13
(1) 収入状況	13
(2) 支出状況	19
(3) 家庭からの給付と修学との関係	27
(4) お金が足りなくなった場合の対処	28
II. キャンパスライフについて	29
1. 入学動機	29
(1) 本学入学までの経過	29
(2) 本学入学は第1希望か	31
(3) 本学志望の動機	32
(4) 本学志望に当たって誰の意見を重視したか	33
2. 学 業	34
(1) 学部・学科の満足度	34
(2) 転学希望等	35
(3) 出席状況	36
(4) 興味ある授業科目（全学共通科目）	37
(5) 興味ある授業科目（学部開設科目）	38
(6) 1日の勉強時間	39
(7) 欠席理由	40
(8) 教員との交流	41
(9) 学生窓口（各学部の学務係等）の対応	42
(10) 学生窓口（各学部の学務係等）の対応－不満の理由	43
(11) 図書館の利用	44

(12) 図書館の利用目的	45
(13) 大学外での資格・技能取得（通信教育を含む、半年以上）	46
(14) 大学外での資格・技能取得（通信教育を含む、半年以上）の内容	47
3. 課外活動	48
(1) サークルへの加入	48
(2) サークル加入の動機	49
(3) サークルの感想	50
(4) 学業との両立	51
(5) サークルに加入しない理由	52
(6) 新入生歓迎行事、大学祭等の学生行事	53
4. 就 職	54
(1) 卒業後の進路	54
(2) 就職を考え始めた時期	55
(3) 希望する分野	56
(4) 職業選定で重視すること	57
(5) 就職希望地域	58
(6) 就職活動で不安なこと	59
(7) 就職について相談した相手	60
(8) 就職に関する大学への要望	61
(9) 就職・職業に関する授業科目の開設	62
5. 学生のキャリア意識	63
(1) 学生のキャリア意識	63
(2) 現時点での卒業後の進路	65
6. 学生の相談体制・その他	66
(1) 学生相談窓口その他の周知状況	66
(2) あったら良いと思う相談窓口	67
(3) 相談窓口への相談状況・意見投稿	68
(4) 相談窓口の対応に関する満足度	69
(5) 相談に行かなかった理由	70
(6) 相談窓口に対する不満	70
(7) 警備員の携帯電話番号の周知状況	71
(8) 電子掲示板の情報について	72
(9) 電子掲示板についての希望・要望	73
(10) 休講掲示の携帯電話での確認	74
III. 個人生活について	75
1. 住 居	75
(1) 住居の形態	75

(2) 入寮の検討	76
(3) 学生寮を選んだ理由	77
(4) 学生寮を選ばなかった理由	78
2. 健康	79
(1) 現在の健康状態	79
(2) 保健管理センターの利用について	80
(3) 身体の具合が悪くなったときの対処方法	81
(4) 飲酒について	82
(5) 喫煙について	83
(6) 平日の就寝時刻について	84
(7) 1日の睡眠時間について	85
(8) 1日の食事の回数について	86
(9) 精神的ストレス	87
(10) ストレスの原因	88
(11) 悩みの対処方法	89
(12) 学内の友人関係	90
3. アルバイト	91
(1) 過去1年間のアルバイト経験	91
(2) アルバイトの主な職種	92
(3) アルバイト収入の使途	93
(4) アルバイトに費やす時間（授業期間中）	94
(5) アルバイトに費やす時間（長期休暇中）	95
(6) アルバイトと学業の関係	96
(7) アルバイトを選ぶ基準	97
4. ボランティア活動	98
(1) ボランティア活動の経験	98
(2) ボランティア活動の内容	99
(3) ボランティア活動の年間活動時間	100
(4) ボランティア活動への関心	101
(5) 今後やってみたいボランティア活動	102

資料編

資料1 平成18年度（第10回）学生生活実態調査集計表	103
資料2 平成18年度（第10回）学生生活実態調査票	131